

令和7年度第1回中井町下水道運営審議会 会議録

日 時 令和7年7月17日（木）
午後1時55分から午後3時30分まで

場 所 中井町農村環境改善センター 2階 研修室

出席者 尾上輝美会長、小澤克之助職務代理、後藤聡子委員、藤江洋子委員
松本初江委員、森昭人委員、鶴井淳委員、藤澤智成委員
（欠席委員なし）

事務局 中井町上下水道課
青木課長、須藤班長、河野副主幹

・開会

・会長あいさつ

・議題

①令和6年度決算概要について

事務局より資料1～3に基づき説明。

委 員：資料3の2ページの決算値（税込）の下水道使用料と3ページの損益計算書（税抜）の下水道使用料の金額は消費税の差ですか。あと、決算値（税込）のその他収益的収入が41万円、損益計算書（税抜）のその他が42万円となっているが税抜なのに増えるのはなぜか。

事務局 2ページの決算値は税込、3ページの損益計算書は税抜の額になります。基本的には2か月に一度検針をして水道料金と下水道使用料は賦課させていただいています。まず税抜で2ヵ月分の金額を出して最後に消費税の計算をして請求する形です。その積み上げの税抜金額、税込金額になります。

その他収入については、最後消費税を確定する際に一連の精算処理を行った関係と、本表においては万円単位での記載となるため端数処理の関係もあり損益計算書のその他が増える形となっています。

委 員：今の資料をみて中井町の公共下水道の状況がよくわかりました。

②経営戦略について

事務局より追加資料及び資料4に基づき説明。

会 長：経費回収率について、汚水処理費（使用料対象経費）はどこを差していますか。収益的支出の合計でしょうか。

事務局：損益計算書の特別損失を除いた経常費用までの合計がベースとなります。そこから公費負担分や長期前受金戻入分を引いた額が汚水処理費（使用料対象経費）となります。前回の審議会でお話した、分流式下水道等に要する経費も公費負担分に該当します。これは全体の汚水処理費から適正な使用料単価である 1 5 0 円×有収水量を引いた額です。この後の議題 3 でも令和 5 年度ベースで使用料対象経費の出し方、費用の分解についてお話させていただきます。

委 員：資料 4 の 2 業務目標の（2）取組内容で経営戦略の見直し及び下水道使用料の検証を少なくとも 5 年に 1 回の頻度で実施するというのはよくわかりました。その次に水洗化率の向上と書いてありますが、これは家庭用トイレで水洗化がされていないのがまだ 20%位あるというイメージでしょうか。

事務局：接続率の話になります。先ほど決算値速報のご報告をさせていただいた資料 1 のところで、令和 6 年度末で 81.7%となっております。前年よりは 1.1%増えております。接続率の出し方については、接続人口÷下水道処理区域人口で出す形となります。下水道処理区域の人口が 6,667 人ということで、そのうち接続しているのが 5,447 人ということです。まだ 1,000 人位の方が下水道の処理区域にも関わらず単独処理浄化槽等を使っており、下水道には接続していない未接続の世帯となっております。接続率の向上については、下水道エリアの方については下水道に接続してくださいという記事を町の広報に掲載したりして周知しています。9 月号にも関連記事を掲載する予定です。また世代交代があつて家の建て替えや所有者の変更があつた場合に、下水道エリアで今まで浄化槽を使っていたところには、下水道への接続工事のお願いをして接続率の向上を図っています。

委 員：単純に水洗化率というのは接続率のことでいいんですね。水洗化率というと家庭用のトイレが水洗化されていないというようなイメージだったんですが。今言っていたとおり、下水道処理区域内の中で合併処理浄化槽等を使用している人は下水道に接続してくださいと、接続していない人がまだ 2 割位いるということでそういう考え方でいいんですね。わかりました。

会 長：議題②については事務局から説明がありましたとおり、現在、経営戦略の改定作業を行っており、その素案が年内には形になってくるかと思えます。次回の審議会で新しい経営戦略の素案を基に今後の下水道の事業計画や財政計画についても確認して審議したいと思います。

③下水道使用料の改定について

事務局より資料5～7に基づき説明。

委 員：経費回収率80%、100%の達成は何年までにやらないといけないのでしょうか。

事務局：国からは独立採算ではないがしっかりとした健全な経営をすること、各自治体によって事情はあるので特定の期限はないが、目標に向けてしっかり進んでいきなさいと言われており、資料4の経営戦略ロードマップを作成しました。中井町の場合、もともと経費回収率が65%と低い数字ですので、いきなり100%にするとなるとそれこそ倍の料金になってしまうので、段階を置いたほうがよいというところがあるので、令和9年度で80%、令和13年度で100%としています。あと、この目標に向けて努力していかないと国は補助金を出さないと言っていますので、そういった罰則があります。

委 員：今回経費回収率80%を達成するためのシミュレーション案で他市町と比較してみましたが、それでも中井町は高くはないと思います。令和9年度で80%、令和13年度で100%ということだが、いきなり100%にするのは難しいのでしょうか。

事務局：最終的には小田原市ぐらい上げないと経費回収率100%は達成できないかと思います。ただ中井町の場合、いきなり100%にするために使用料を一気に上げるというのは難しいと思っています。また、上下水道課で事業を行っており、今後水道料金についても見直しをしていなければいけないというところで、バランスを取りながら上げていきたいと思っています。下水としては2年あけてすぐに100%にしたいという思いもありますが、その間には上水の値上げが入ってくる可能性があるのかなと思っています。

委 員：下水道の管渠の工事はほぼ終わっているかと思うが、下水道の整備工事の予定は今後あるのでしょうか。

事務局：中井町の管渠は平成3年から工事を行い、平成11年から使い始めたので比較的新しいです。ただ六斗山、砂口尻地区については、企業庁が開発を行いコミュニティプラント（集中浄化槽）という形で1箇所処理していました。その処理場を壊した際に中井町の公共下水道にその管を使って接続した経緯があり、その入っている管は50年を経過したものになります。こちらの改築更新工事を待ったなしで行わなければなりません。管渠のほうは調査をしたところ、比較的健全ということでしたが、各家の取出管が当時使っていたものが耐久性の弱いものでしたので、詰まったりしている家も出てきています。取出管を入れ替える工事を来年度から行いたいと思っております。それとマンホールのはしは耐用年数15～30年で実際にはもっと長く使えますが幹線管渠に設置しているものについては、合流して硫化ガスが出て開かなくなったり、もろけてきているところがありますので交換を予定しております。そういったところに町単独では厳しいので今後国庫補助金を充当して整備していきたいと思っております。

委員：下水道使用料の改定を令和9年度と令和13年度に実施予定ということですが、水道料金のほうは令和11年度あたりに料金改定を行う予定でしょうか。

事務局：上水道のほうも同じように審議会（協議会）を開いて、今年度、経営戦略の見直しを行っている最中になります。上水道は現状、独立採算で経営できている状態ですが、これを維持していくために経営戦略の中でいろいろなシミュレーションをしながら、いつになったらお金が足りなくなるのか分析をしているところです。資金繰りを精査して、使用料改定の時期を検討する形となります。上水道についても今年度中にはその資料が出てくると思いますが、今の時点ではいつ料金改定を行うのか資料が出ていけませんので、資料が出次第、本審議会でも情報提供していきたいと思っております。

委員：所管課としてはどう思っているのか。

事務局：他の市町の話聞いても、下水道使用料改定の合間に水道料金の改定を行う形か、上下水道を一緒に上げたほうがよいという考え方などあります。どちらがよいかわかるように検討していきたいと思っております。今回、下水道のほうを全体で20%位上げないといけなくなった場合、水道料金と一緒に支払いとなるので、両方使っている人は実際には10%位のアップとなります。それを水道料金と交互に2年ごとに両

方で10%ずつ上げていくか、あるいは上下水一緒に上げて、4年ごとに両方で20%ずつ上げていくか、どちらの形が町民の方にとってよいのか検討していく必要があると思います。

会 長：使用料改定については皆様敏感になると思いますので、慎重に行わなければならないと思います。それでも独立採算という言葉がありますので、やる時にはやらないといけないと思っております。

委 員：先に水道料金を上げてはどうか。県下でも安いほうなので上げてても反発は少ないのではないのでしょうか。

事務局：水道についてはまだ独立採算を保っている状態です。確かに水道は県下でも最低レベルの料金、全国でみても最低レベルの料金だと思います。ただ今の水道料金に皆様慣れている部分もあるので、上げるとなれば反発はあるのかなとは思いますが、水道については独立採算で経営ができるのかどうかという観点でやっています。

委 員：水道事業についても境目にきていると思います。ただ水道料金については、全国でも10本の指に入るくらい安いですし、上げやすいのではないのでしょうか。

事務局：根拠をきちんと説明しなければなりません。足りているのであれば上げないほうがいいと思いますし、水道事業についても精査してやはり足りないということになれば、ご理解をいただいたうえで使用料改定を行いたいと思っています。

会 長：ほかにご質問等もないようですので、まとめさせていただきます。
中井町の経費回収率は令和5年度で65.6%です。これをいきなり100%にするのは難しいと思います。
経営戦略ロードマップでも、まずは令和9年度に経費回収率80%を目指すとしております。今回、事務局から令和5年度決算ベースで経費回収率80%の達成を目指すための使用料改定シミュレーション案を出してもらいましたが、今回の例だと平均使用料改定率は22.2%となりました。使用料体系や使用料単価については調整の余地ありだとは思いますが、有収水量の増加がなかなか見込めない中で、使用料収入を年間で2,000万円以上増やすには、相応の負担増となることが分かったと思います。また、使用料対象経費を分解すると固定費が大半を占めており、下水道協会のマニュアルによると固定費のうち30%分は排

水量の多寡にかかわらず公平に負担するものであるという説明がありました。多量排水者ばかりに負担させてもいけませんし、この固定費の30%分（基本使用料部分）については、各水量区分で負担するのが基本かと思います。

近隣市町も経費回収率100%に達しているところは少ないですが、今後も各市町で経費回収率向上のために使用料改定が行われることが予想されます。

次回審議会で今後の下水道の事業計画、財政計画を確認して、基本的には令和9年度に経費回収率80%を達成できるよう使用料の改定について審議していきたいと思いますのでよろしくお願いします。本件については継続審議とさせていただきます。

会 長：以上で議題は終了となりますが、その他について事務局から何かありますか。

事務局：今年度の委員報酬については、年度末にまとめて指定口座に振り込ませていただきますのでよろしくお願いします。

本日の会議録についても作成でき次第皆様に送付いたしますのでご確認くださいませよう願います。確認後に町ホームページに掲載させていただきます。

会 長：それでは、これをもちまして、本日の会議を終了させていただきます。議事進行にご協力いただきありがとうございました。

事務局：次回の審議会は11・12月頃に予定しております。議題は「経営戦略について」と「下水道使用料の改定について」を予定しています。より具体的に使用料改定について審議していただくこととなりますのでよろしくお願いします。次回審議会の開催日が決まりましたらご連絡させていただきます。開催の2週間前位に開催通知と資料を配付する予定ですが、何かありましたら事務局までご連絡ください。これをもちまして、本日の審議会を終了させていただきます。ご協力いただきありがとうございました。

・閉会